

報道関係各社 様

令和4年3月28日



北越急行株式会社

## ほくほく線 大地の芸術祭作品について

「越後妻有 大地の芸術祭 2022」（令和4年4月29日～11月13日開催）において、ほくほく線美佐島駅を舞台とした新作品を展開します。

- 作品名： JIKU #013 HOKUHOKULINE
- 作家： パノラマティクス／齋藤精一
- 鑑賞方法： 芸術祭列車(六日町駅～十日町駅・まつだい駅間運行)に乗車して、美佐島駅停車中に作品を鑑賞します。
- 運行日： 4/29・30、5/1・2・3・4・5・6・7・8(GW期間)  
7/30・31、8/6・7・11・13・14・20・21・27・28(土休日)  
9/3・4・17・18・19・23・24・25(土休日)  
10/1・2・8・9・10・15・16・22・23(土休日)  
11/3・5・6・12・13(土休日)
- 運行時刻： 1日4便 ※美佐島駅では乗り降りできません。

1便	六日町駅10:37発→美佐島駅鑑賞→十日町駅11:02着→まつだい駅11:12着
2便	まつだい駅11:22発→十日町駅11:32発→美佐島駅鑑賞→六日町駅11:57着
3便	六日町駅13:17発→美佐島駅鑑賞→十日町駅13:42着→まつだい駅13:52着
4便	まつだい駅14:19発→十日町駅14:29発→美佐島駅鑑賞→六日町駅14:54着

- 鑑賞料金： 運賃…乗車区間のきっぷをお求めください。  
鑑賞料…大人700円、小中学生400円  
(大人は作品鑑賞パスポート提示で500円)
- 予約方法： ほくほく線ホームページ内「インターネット予約」から事前にお申し込みください。  
4月1日10:00から予約可能。  
※空席があれば当日でも乗車可能。

## 作品イメージ



パノラマティクス/齋藤精一「JIKU #013 HOKUHOKULINE」 photo Nakamura Osamu

### 作品名：JIKU #013 HOKUHOKULINE

都市開発や地形の変化などで見えなくなった地域の軸や視点の軸・歴史の軸を光で表現するプロジェクトシリーズです。今回は、北越急行ほくほく線的美佐島駅が舞台。1997年に開通して以来、新たな地域とのつながりを生み出してきたほくほく線。その軌道を使って、地点と地点を結ぶことの尊さやエネルギーを表現した作品です。特別列車の前後に設置された照明装置によって、まっすぐに伸びるトンネルが音と同期して照らされます。特別列車に乗車して訪れた人だけが鑑賞できる体験型作品となります。

### 作家：パノラマティクス／齋藤精一

技術と表現の新しい可能性を探求し、独自の作品だけでなく、アーティストや研究者との共同制作も数多く行っている「ライゾマティクス」から、2020年に新たな社会や産業構造の創造と実装に向けて、立ち上がった「パノラマティクス」。2025大阪・関西万博 People's Living Lab（ピープルズ・リビング・ラボ）クリエイターでもある。

以上

<お問い合わせ先>

北越急行(株) 営業企画部 担当：桑原、水澤

TEL 025-750-1251